

毒性を弱めた病原体(ウイルスや細菌)や毒素を、前もって投与しておくことにより、その病気にかかりにくくすることを予防接種といい、投与するものをワクチンといいます。



予防接種の秋がやってきた!

～秋になって食べ物が美味しいと感じたら、予防接種を受けるタイミング～

予防接種の大切な目的として右の3つをあげることができます。ですが、予防接種をしたからインフルエンザや肺炎などの病気にかからないというわけではありません!手洗い・うがい、歯磨き、十分な睡眠、栄養バランスのよい食事、乾燥対策など、1つ1つの予防活動を万全にして、健康な生活を楽しみましょう!

● インフルエンザワクチン

インフルエンザウイルスは毎年変異しながら流行します。ワクチンは毎年そのシーズンの流行を予測したものが生産され、接種することでインフルエンザの重症化や合併症を減らすことができます。

インフルエンザの流行は12月～3月頃です。毎年10月頃から接種が開始されますので、流行前までに接種を終了させましょう!(※インフルエンザの予防接種は原則1回接種です)

公費適用期間 令和元年10月1日～令和2年1月31日

※掲載している公費はすべて総社市の料金です。料金は税込表示です。

公費	65歳～69歳	2,250円
	70歳以上	1,200円
自費	1回目	3,850円
	2回目	2,750円

予防接種の大切な3つの目的

- ① 自分がかからないために
- ② もしかかっても症状を軽くするために
- ③ 家族やまわりの人にうつさないために

● 肺炎球菌ワクチン

肺炎は日本人の死因第3位です。65歳以上に多い感染症で肺炎球菌によるものが最も多いです。肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌による肺炎などの感染症を予防し重症化を防ぐワクチンです。接種してから免疫(抗体)ができるまで、約3週間かかり、効果は5年以上持続するといわれています。(※肺炎球菌ワクチンは全ての肺炎を予防するワクチンではありません)

公費適用期間 令和元年7月1日～令和2年3月31日

※掲載している公費はすべて総社市の料金です。料金は税込表示です。

公費	65歳・70歳・75歳 80歳・85歳・90歳 95歳・100歳の方	3,600円
非課税世帯	—	1,800円
自費	—	8,800円

院長の認知症コラム インフルエンザから肺炎を併発することがあり、高齢者にとって命に関わる重大な病気です。肺炎をきっかけに、いわゆるもの忘れ等の認知機能の低下、筋力の低下による寝たきり等で、介護が必要となることもあります。ご自身の体調管理、マスクや手洗いだけでなく、毎年「認知症と予防接種」決まった時期に予防接種を受けることで、流行前の対策をしっかりしておくことが大切です。

COLUMN

「認知症と予防接種」

